

本山修一議員



住宅改修補助金の予算増額を

市民が住宅改修を行う場合改修費用の5%（8万円を限度）を市が補助する住宅改修補助金制度は住宅改修を行う市民への助成と中小業者の仕事確保につながります。本山議員は一般質問を行い、市はこの間の経済効果をどう認識しているのかたどりました。市は12年間の利用件数は1326件で（平成22年まで）、市が補助した交付総額は約8875万円に対し、工事契約総額は約24億6337万円にのぼり、およそ27倍となっていて相当の経済効果があると答弁。同制度の予算額は21年度1000万円、22年度1040万円、23年度も1240万円の予算が消化され、利用が打ち切られています。23年度も1240万円の予算が9月で消化されようとしていて、本山議員は市内経済の活性化に大き

な役割を果たしている同制度の予算を来年度、大幅に増額していくべきだと市に見解を求めました。市は今後とも制度充実のため、最大限の努力をすると答弁。

「木野目排水ポンプ」が来年度増強へ

木野目排水ポンプは平成13年度に新河岸川の激特事業に合わせ、さくら堤団地わき水路に設置されました（集水区域56ha排水ポンプ秒速1.2m）。しかし、平成20年8月の豪雨で同団地など浸水被害が発生しています。さくら堤団地自治会長・役員らが市に「木野目排水ポンプ」の増強を要請。本山議員も一般質問で取り上げました。市は来年度、木野目排水ポンプを増強していく、県の決済も下り、整備手法を現在検討中と回答。



市民のみなさんと力を合わせて実現

雇用創出を積極的に

平成21年度から緊急雇用創出基金事業として23年度までに39事業が実施され、総額2億8430万円、新規雇用者数は263名の見込みです。

これまで日本共産党議員団の提案で緊急雇用創出基金事業を活用し、雇用を増やすよう求めてきました。9月補正予算で20事業、総額1億7270万円、新規雇用者数126名を予定しています。広報紙電子化や交通量調査などの業務をおこないます。

こどもの城を改修中 11月26日新装オープン

こどもの城が29年目を迎える老朽化。市民からはもっと魅力的な児童館にしてほしいと声が寄せられ、昨年12月議会の一般質問で取り上げました。その後、ランチタイムを設けお弁当等を食べられるようになりました。現在、改修が行われ、11月26日予定で新装オープンします。壁、床などで一部木質化。（県産材使用）ウッドデッキも設置。子ども達が使いやすいように手洗い場やトイレも改修されます。



太陽光発電設置補助の予算を300件分追加

年度当初に300件分（2625万円）で行われていた太陽光発電システムの設置補助が、原発の事故による計画停電などによる不安などもあり6月早々に使い切ってしまった。6月議会で党議員団が原発から自然エネルギーへの転換を求め、増額を求めたところ9月の補正予算で当初予算と同額の300件分が計上されました。



学校給食の産地を公表

9月議会の一般質問で求めている、学校給食の調査・産地公表、きめこまかな放射能測定の要請に対して、市は10月から小中学校、公立保育園給食で使われる食材の産地公表をはじめました。学校給食については市ホームページでも確認できます。

また、10月11日からは市内にある全学校・全保育園、大規模な都市公園、ごみゼロ運動で自治会が清掃している道路側溝などの放射線測定を行い、市民の不安にこたえようと発表しました。

市民の願い実現へ建設的に提案

日本共産党議員団

日頃のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から7ヶ月余、再建復興への歩みが進む一方、いまだに被災者の多くが今後の生活の見通しが持てないでいます。国の対策が遅れるなか、放射能の子どもへの影響を心配する親たち、農業者や

漁業者をはじめ地域で働く人たちが声をあげ、草の根の運動が社会を動かすはじまっています。市内でもツイッターや呼びかけられた「原発さよならデモ」が行われるなど、身近なところでも多彩な取り組みが広がっています。

みなさんの声を市政に

日本共産党議員団はこの間、被災地支援ボランティアや救済募金に取り組みとともに、市政こんだん会を開催してみなさんの要求をお聞きし、さまざまな生活相談活動などに取り組んできました。

これらの活動を通じて出された要求をもとに、9月市議会では4人の議員団が「放射能汚染から市民のいのちと健康を守る取り組み」「震災に強いまちづくりを」「人間らしく働ける雇用を」「学校施設の大規模改造を」などの表題を掲げて一般質問し、建設的な提案でみなさんの声を市

政に届けてきました。

来年は市政施行90周年を迎えます。県南西部地域の中心都市として、くらし・福祉優先の市政、市民参加で住民こそ主人公の市政をめざしてがんばります。

市民アンケートにご協力を

みなさんの要望・意見を来年度予算に反映させるため「市民アンケート」用紙を折り込ませていただきました。お手数ですがFAX・郵送でも結構ですのでお届けくだされば幸いです。ぜひ、みなさんのご協力をお願いいたします。

生活相談
日時：毎週火・水・金 9時30分～12時
場所：川越市役所6階 日本共産党議員団控室
相談の際は事前にご連絡下さい。
TEL：049-224-8811 内線3636

一緒に川越市のことについて考え懇談しましょう!

日本共産党議員団は8月28日やまぶき会館会議室で、市民の幅広い声、市政や地域の要望を直接聞くために市政こんだん会を開催しました。多く出されたのは、介護保険と西口ふれあい拠点施設についての質問でした。その他にも雇用、教科書問題、団体補助金削減について、交通問題などが出されました。11月の市政こんだん会にぜひお越し下さい。



写真は8月に行われた懇談会の様子

市議会報告 2011年9月

発行 日本共産党川越市議会議員団
 連絡先 川越市役所内 日本共産党控室
 049-224-8811 (内線3636)